



## 大学生のキャリア形成支援の現場から

最終回 新卒一括採用制度は是か非か

本庄 麻美子

先日、経営者のある卒業生の方から「今まで中途採用で人材を確保してきたけれど、新卒採用も検討している。具体的にどうしたらいいか」と相談がありました。ありがたいお問い合わせです。新卒採用を検討する理由として、中途採用で良い人材となかなか縁がないこと、今後を考え新卒採用にもチャレンジし長期的に人材を育てていきたいことを挙げられていました。

一方で、新卒一括採用制度の見直しを促していきたいと経済産業大臣が発言し、注目されています。世界に類を見ない日本独特の雇用慣行である「新卒一括採用」ですが、果たしてこの制度は是か非か。以前から様々なところで議論されるテーマですが、皆さんはどう考えますか？

終身雇用が前提で、時間をたっぷりかけ人材育成できる余裕があった頃と今は違います。また、新卒一括採用制度が「世代効果」（卒業時の労働市場の需給バランスが、その後長期に渡り就業形態や賃金水準に影響を与える効果のこと）の一因だといわれています。現行の就職活動に関しても「多様化といわれている時代に、黒のリクルートスーツに身を固め

画一的で滑稽だ」「就職活動が原因で、うつ病や自殺が増えていることは問題だ」との指摘もあり、批判も多く聞こえてきます。

しかし、個人的には新卒一括採用制度に肯定的な見解を持っています。OECD 加盟 13ヶ国の調査によると、過去 25 年間の動向を見ても、日本における若年就業率は高く、若年失業率は国際比較の平均を一貫して大きく下回っています。日本は就学率が高いという背景もありますが、新卒一括採用の雇用慣行から一定の恩恵を受けているといえます。それに加え、採用側にもメリットがあります。毎年フレッシュな新入社員が入ってくることで組織が活性化しやすし、年代別の組織構成を維持していくこともできます。また、同時期に入社させることで採用・教育コストを抑える効果もあります。

今後の動向が気になるのですが、私の担当は今回が最終回。半年間、お付き合いいただき誠にありがとうございました。これを機に「是非、大学生を採用したい!」と考える企業の皆さま、遠慮なくご相談いただけましたら幸いです。

(ほんじょう・まみこ / 和歌山大学経済学部助教)

第 85 回 わだい浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

# 生ごみや下水汚泥からの エネルギー回収を考える

話題提供者 吉田 登 (和歌山大学 システム工学部 教授)

日時

2016年9月21日 水 19:00 ~ 20:30

場所

岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

生ごみや下水汚泥、これらは私たちの身近な生活から発生する廃棄物ですが、もともとは生物由来の有機物からできている自然の恵みであり、人間社会から安定的に生み出される貴重な資源とも言えます。私たちの身近な“ごみ”からのエネルギー回収について考えます。

わだい浪切サロンとは？

毎月第3水曜日（2月と8月を除く）の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。申込み不要、参加費無料。

お問合せ先：和歌山大学岸和田サテライトオフィス 〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

TEL & FAX : 072-433-0875

岸和田サテライト 検索